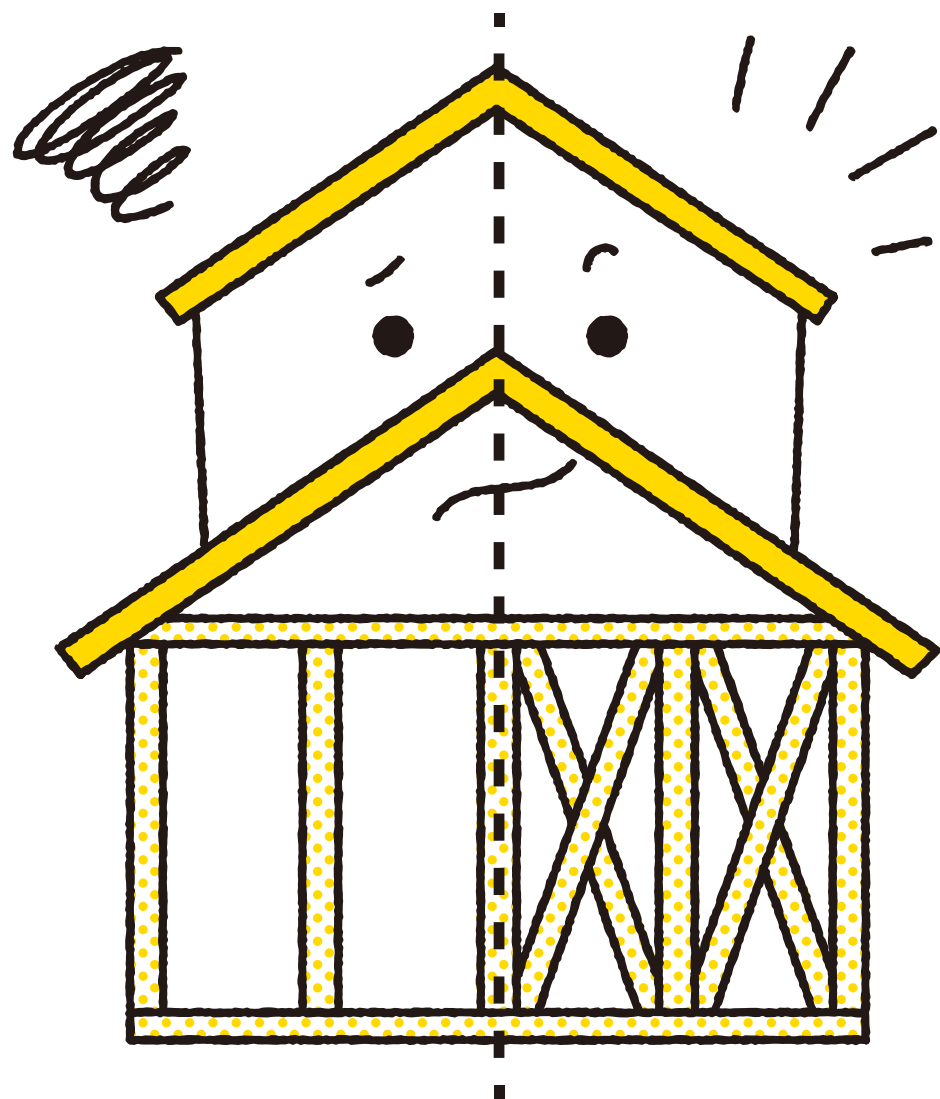


状況にあった耐震補強工事を行おう



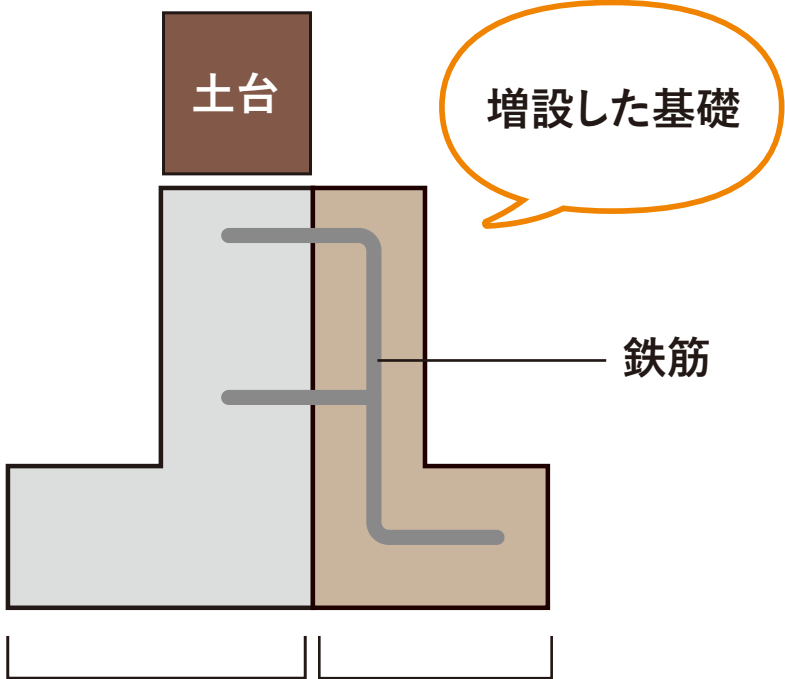
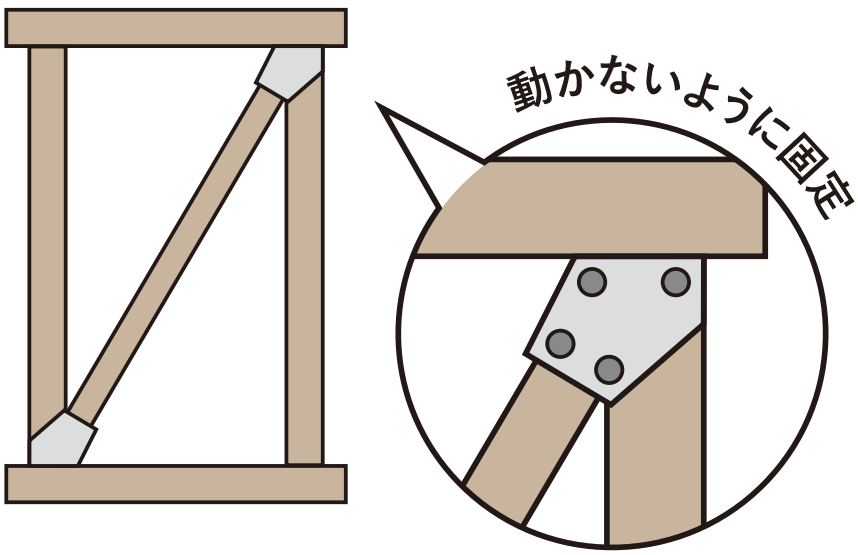
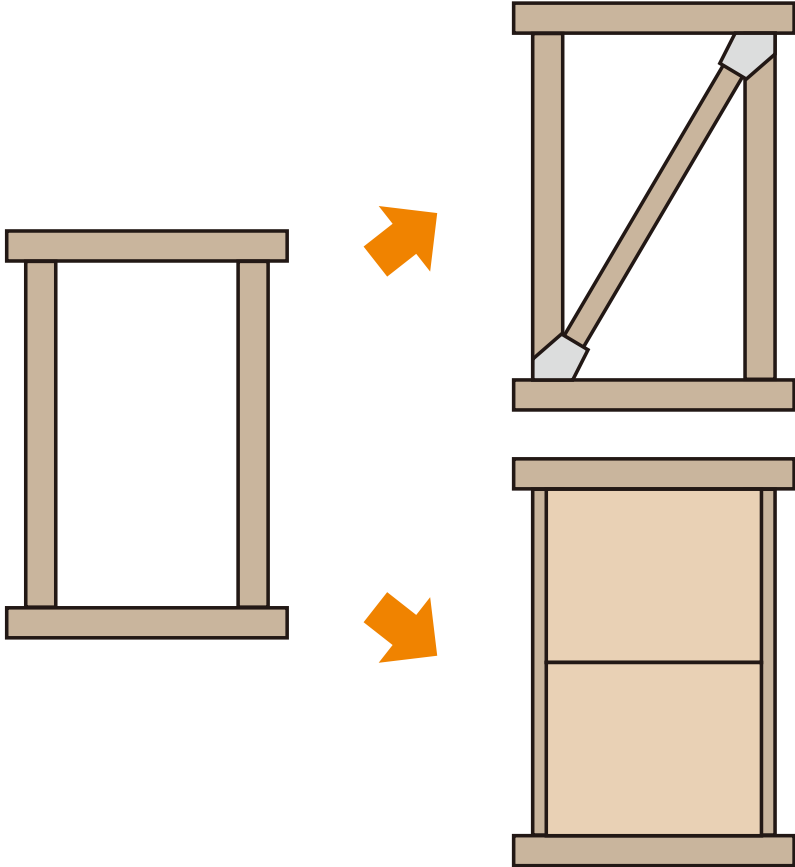
地震に強い家になるための耐震工事。
実際にどんなことを行うのかを
内容・費用・期間の順で説明いたします。

内容の説明

費用の説明

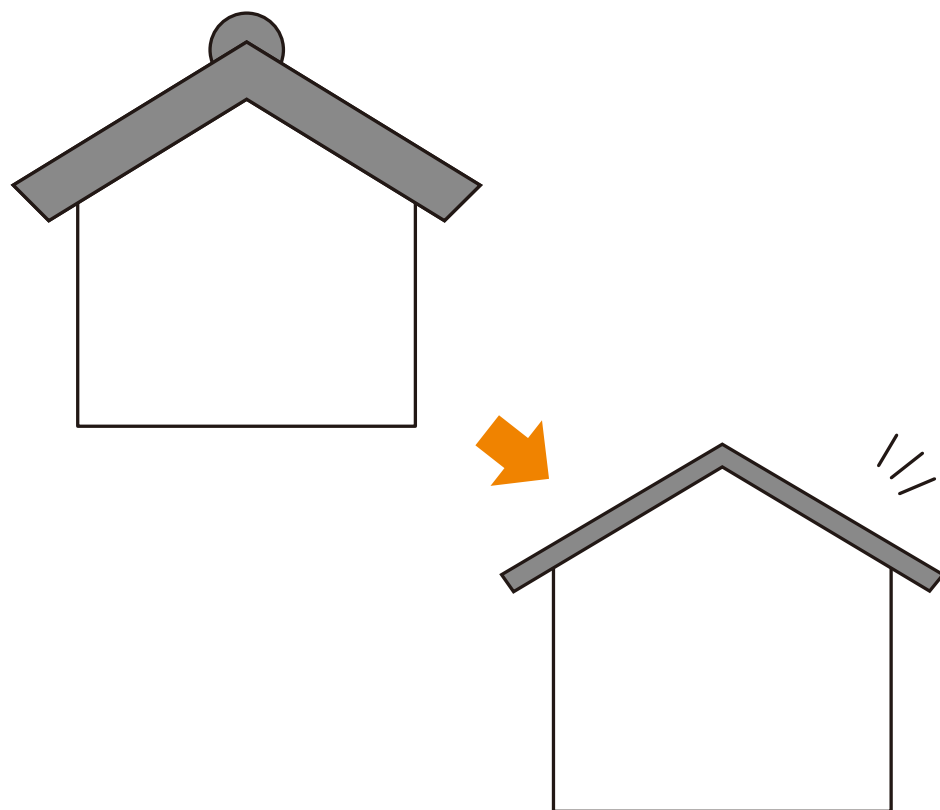
期間の説明

工事の内容.1 -強くする-

1.基礎	2.柱と梁・土台	3.壁
 土台 増設した基礎 鉄筋 既存の基礎 新規増設部分 ひび割れを補強したり、鉄筋コンクリートの基礎を増し打ちして補強します。	 動かないように固定 接合部を金物で補強・固定することで強化します。	 筋交いを配置したり、合板を貼り付けて壁の剛性を高めます。

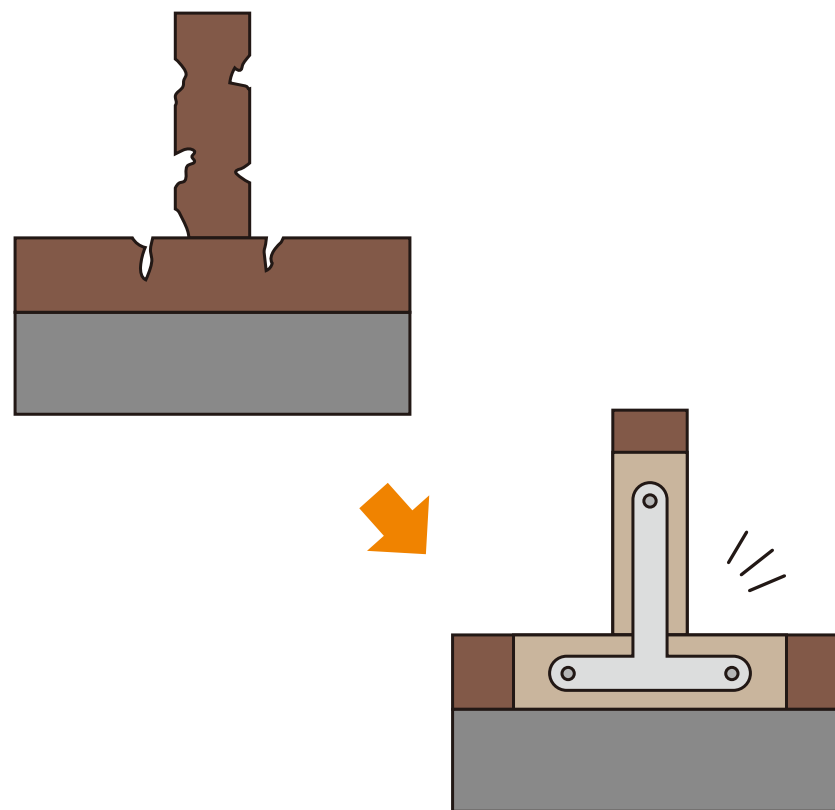
工事の内容.2 - 軽くする／交換する／その他 -

1. 屋根を軽くする



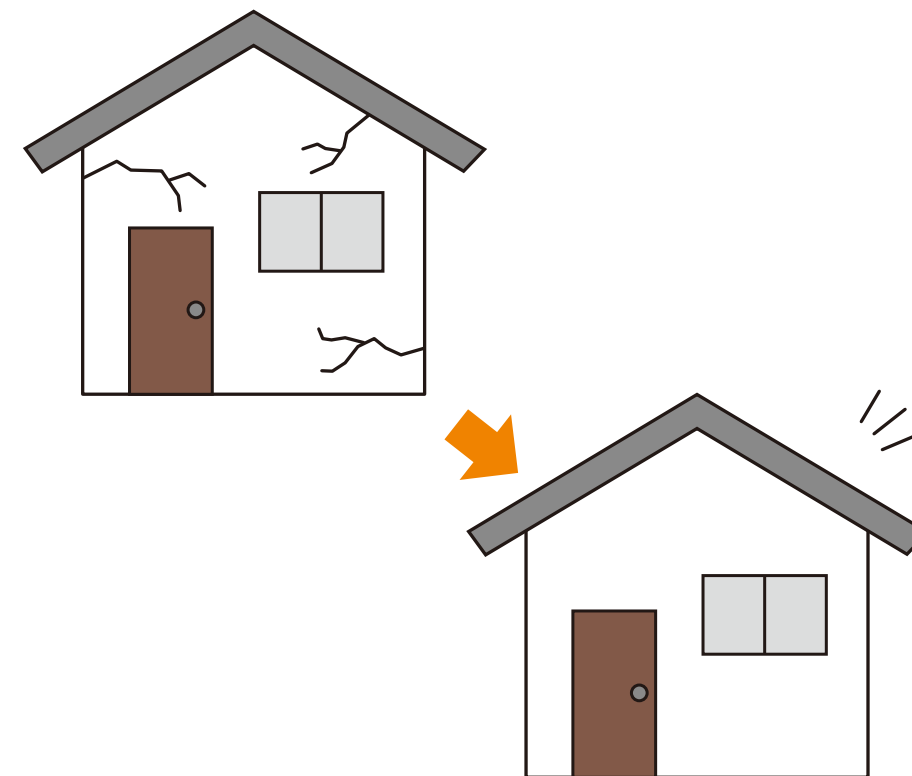
瓦などの重たい屋根を、スレートなどの軽い素材に葺き替えます。

2. 交換する



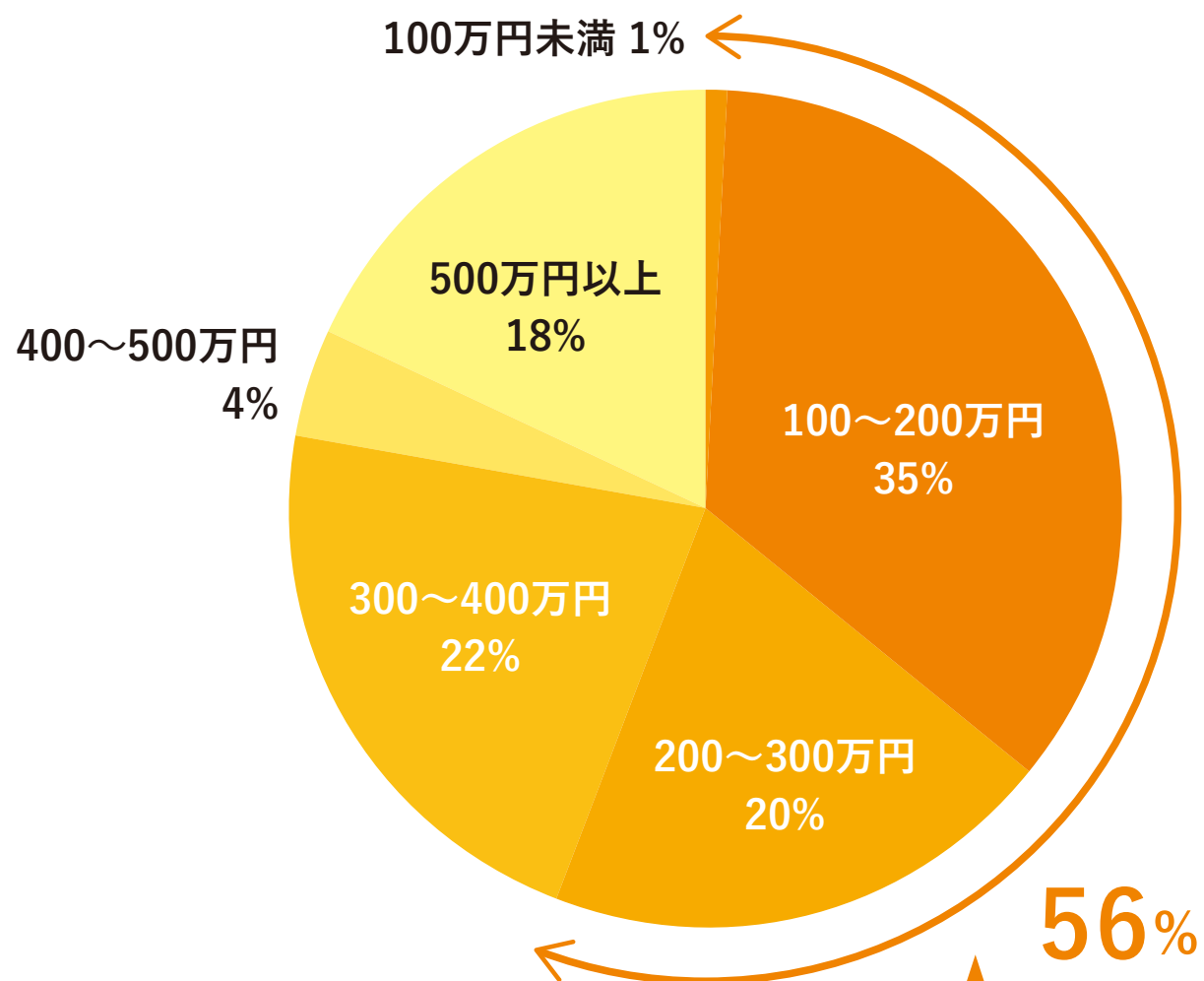
雨漏りや白アリの被害によって弱くなった部材を交換します。

3. その他



外壁や基礎のひび割れなど必要に応じて補修を行います。

工事の費用



300万円未満の耐震改修がよく行われています

「ひょうご住まいの耐震化促進事業の工事実績について」住宅耐震改修工事費の目安(令和6年度)より
工事費用は住宅の状態や工事の条件等によりばらつきがあるため、あくまで概ねの費用目安の参考とお考え下さい。

100万円未満から
数百万円まで幅があり、
家の状況にあった選択ができます。

補助制度のご案内

大地震に耐える耐震改修をされる方に
改修設計費・工事費の一部を補助します。

設計費補助

対象
費用の **9/10**
最大 **27万円**

工事費補助

対象
費用の **4/5**
最大 **115万円**

低コスト(低価格)工法で 工事費や工期を縮減

- ・壁や床、天井の解体を
最小限に抑えた工法
- ・外壁撤去を行わずに
外部から補強できる工法
など

最新の情報は兵庫県の
ホームページで見ることができます。



工事の期間

木造の戸建住宅であれば、
通常1ヶ月程度です。
住宅の規模や工法などによって、
もう少し時間がかかる場合もあります。

※参照：https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/wd30_000000017.html



家の状況や、
ご希望などに応じて、
専門家と決めていきます。



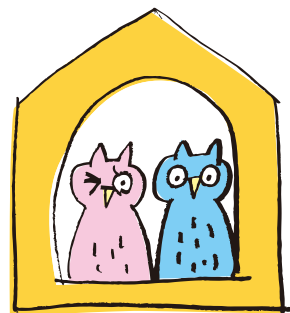
実は…
暮らしながらの
改修もできます

※工事の内容によります。
詳しくはご相談ください。



せっかくなので…
一緒にリフォームは
いかがですか？

耐震化に取り組もう



すまいるネット



耐震診断員



建築士



工事業

相談

診断

設計

工事

神戸市はすまいの**耐震化**に取り組んでいます。

無料耐震診断を受けて、
すまいの安全性を確認しましょう。

無料耐震診断の
対象可否に関わらず
相談無料

無料耐震診断

対象

- 木造(2階建て以下)の場合
2000年5月31日以前に建てられた住宅
- 上記以外の場合
1981年5月31日以前に建てられた住宅

条件

- ☐ 2000年6月以降に増築されていないこと
- ☐ 店舗付き住宅の場合は、
住宅用途の部分が延べ面積の半分以上を占めていること
- ☐ ツーバイフォーやハウスメーカーの
プレハブ住宅等でないこと